

今回の **かがやき** は、

「今が一番しあわせな自分でいたい」をモットーに、小規模多機能型居宅介護や地域密着型通所介護など、地域に寄り添う3つの介護施設を展開する株式会社 倫風館。今回は、ベトナムから来日し、日々熱心に介護に取り組む、「小規模多機能型居宅介護事業所 ひばり苑」のレーティホアさんをご紹介します。

Q 入社のきっかけは？

A 9年前に静岡県の工場で技能実習生として3年間勤務していました。

もともと介護の仕事には興味があり、ベトナムで基礎的な介護の資格を取得していたので、慣れ親しんだ日本で自らの資格を活かして介護の仕事に挑戦したいと思い、特定技能として働くことを決意しました。

最初は、職場環境に慣れることに不安もありましたが、職員の皆さんや利用者様が温かく接してくださり、毎日楽しく働くことができています。

Q 業務上心がけていることは？

A 初めて入浴介助を担当したときは、滑る危険や、歩行が難しい利用者様への対応に戸惑いました。安心して



レーティホアさん
(入社2年目)

株式会社 倫風館
ひばり苑グループ

〒850-0934
長崎市小菅町29番3号

TEL 095-816-1133
FAX 095-816-1138

代表者：代表取締役社長 西 久晴
本社設立：平成24年4月1日
全社従業員：80人
事業内容：小規模多機能型居宅介護、
地域密着型デイサービス、
家事代行サービス、飲食サービス業



して気持ちよく入浴していただくにはどうすればよいか、先輩職員にお手本を見せてもらいながら、少しずつ学んでいきました。

利用者様それぞれに合った介助方法があるため、その都度メモを取り、一人ひとりに寄り添った安心・快適な介助を心がけています。

Q お互いの文化を理解し合うために取り組んでいることは？

A ベトナムの文化を利用者の皆様に紹介できればと思います、『バインセオ(ベトナム風お好み焼き)』をおやつレクリエーションで提供する予定です。高齢者にも食べやすいようにアレンジし、楽しんでいただけるよう工夫しています。

また、昨年は、社長に誘っていただき、長崎くんちやペーロンを見に行く機会

がありました。お互いの文化を学び、共有し合える環境作りをしていただき、安心して働くことができています。

Q プライベートの過ごし方は？

A ベトナムに住む両親や子どもと電話で話すことが日課であり楽しみの一つです。また、休日の日は早起きをして散歩に出かけるなど、心身をリフレッシュすることを心がけています。

Q 今後の目標は？

A 福祉の仕事がとても好きなので、将来は介護福祉士の資格取得にも挑戦したいです。さらに、後輩ができたときには、自分の経験を活かして丁寧にサポートしていきたいです。

また、日本語のスキルもさらにアップ

プしたいので、日本語能力試験のN2合格を目指して勉強に励んでいきたいです。

「利用者様とお話する時間が幸せです」と笑顔で話してくれたレーティホアさん。職員の皆さんにも利用者様にも愛されている様子が伝わってきました。後輩の指導など、ベトナムと日本の懸け橋としてこれからの活躍にも期待です。



▲レーティホアさんをサポートしている西社長(左)